

高橋彰雄君 佐藤年度、会長幹事慰労会欠席、山崎会長時も欠席と失礼して居ります。会長・幹事よろしくお願いします。

佐藤弘志君 石川さん卓話楽しみにして居ります。

久保博君 大野さん慶事おめでとうございます。

五十嵐茂君 七勝二敗、大相撲名古屋場所、安美綿、勝ち越し祈る。

坂内康男君 日曜日前日の雨のため、登山中止になり残念でした。2回目の海エゴ草取に行き大変又良く取れました。そのお礼です。

馬場直次郎君 石川さんリターンマッチのスピーチ楽しみにしています。

梨本清一君 3回連続で休むとホントに久し振りの気がします。マッターホルンを眺めながら3日間のトレッキングを楽しんで参りました。高山植物の咲き乱れる花々の中で牛が寝そべっている光景は日本では考えられません。

外山晴一君 幹事になって休んでばかりで初めての出席です、すみません。頑張りますので宜しくお願いします。

佐藤義英君 ニギリ分です。

*本日の食事: コールコンソメ、ハンバーグステーキ、サラダ、ライス、デザート

卓 話: 「あらためまして石川です」 石川友意会員



あらためまして石川です。

あらためまして、自己紹介をさせていただきます。私は昭和26年2月2日、分水町佐善の農家の次男として生まれました。兄キの替わりに家を継いでおります。石川家としては、私が4代目になりますが、先祖は、地方巡業の相撲取りだったそうです。それにしても、私の体格がたいしたことがないので、きっと序の口あたりの力士だったのではないかと考えております？

子供の頃は農家の仕事の手伝いを良くした「いい子」？でしたので、兄キが家を継がないと決めた時も、親は特に反対はしなかった様です。

子供の頃は、田のまわりは水路になっていて、どの家も、舟を3〜4艘持っており、私もすでに小1の頃には、田植えの時など、苗と人夫を乗せて、舟を漕いでおりました。小五の時に耕地整理が成り、テラーの時代になりました。

家を継いだ為、当然農業高校に進み、卒業後、24才迄、米を作っておりました。高校時代は、将来、酪農青年実業家を目指しておりましたが、実社会に出てみると、その厳しさから夢も消えてしまいました。稲をつくりながら、農閑期は土方や、名古屋の造り酒屋へ若衆としていたりしておりましたが、20才の時、友人にさそわれて、三条市大島にあります国道原宿に入社、昼は農家、夜はサービス業と、二足のワラジでやってきました。入社当時の原宿は、地下のレストランで毎日歌

謡ホールをやっていて、毎日毎日満席の状態でした。今想うと、そのところがカラオケの走りだった様に思います。今まで、外仕事ばかりで、まっ黒に日焼けした男が蝶ネクタイを締めた姿は、山ザルが山から降りてきた様で、とにかく様になりませんでした。

24才の時、父親が田んぼにたくさんの草のある我家の田を見て、二足のワラジはやめようとの提案で、田を委託し、サービス業で生きてゆこうと決心いたしました。27才迄、原宿でお世話になり、長女が生まれたばかりの昭和53年4月に当時の社長の岩井先生から面接をしていただき、三条ロイヤルホテルに入社させていただきました。

入社してすぐ、1Fレストランの店長として4年間、その後6Fレストランの店長として4年間、そして支配人として13年間勤め昨年の3月に前社長を引き継いで現在に至っております。20才から始めたこのサービス業と言う仕事は、最初の1～2年は、自分の性に合わない仕事だと常に思っていてやっておりまして、いつやめようかとばかり考えておりました。しかし、続けてゆく中で、この仕事のすばらしさをお客様からおしえていただいた様におもいます。

当時の自分の考えとして、米をつくったり、土方をしたり、酒蔵にいたり、その他、いろいろな仕事にたずさわってきました。その中で、自分の本業がどうであれ、今現在たずさわっている目の前の仕事に対して、全力を尽して望む気持ちと姿勢を常にキープしようと言う思いでやってきたつもりです。そして、このサービス業は一生けん命やればやる程、私自身のお客様がどんどん増えてくることに喜びを感じる様になりました。

「あんたの笑顔をもた見たくて食べに来たよ」とか「あなたがこの店にいるから食べにくるんだよ」とか、そして、「おいしかった、ありがとう、また来るよ」と言うお客様の言葉がききたくて、頑張っていた様に思います。店の従業員とお客様と言う関係から、1対1の人間としての心のふれ合いという大切に、本当にすばらしいものを体験させていただき、この仕事で一生生きてゆく決意をし、現在に至っております。お客様の喜ぶ笑顔が、私自身の喜びであり生きがいであるとの思いで、更にお客様の役に立つ自分、ホテルを目指し、これからも努力し続けたいと思っております。

最後に、ここで少し自分自身の健康管理についてお話しをさせていただきたいと思います。私は13年程前から、アロエ酒を飲んでおります。小さい時から体が弱く、親にいつも心配をかけてきました。社会人になって少しは丈夫にはなったものの気管支が弱く、カゼを引くとすぐはれて、熱が続く、その度に会社を休むパターンでできました。レストランのウェイトレスの子で、今まで体の弱い子が丈夫になったのを見て私も飲む様になり、カゼを引かなくなり、自分でもおどろいております。参考までに造り方を記しておきますので、ためしてみてください。只、私の場合、体に良いと言うことで、けっこうたくさん飲んだ為、今までの疣瘡が直ったかわりにキレ瘡になってしまいました。きっと35°の焼酎のせいだと思います。適量は朝夕、杯に一杯ずつです。神経痛や、リウマチにも効くそうです。おためし下さい。